

まちづくりネット ニュース

(第6号)

新年号 2012.1.1

発行所 三芳町協働のまちづくり
ネットワーク運営委員会
委員長 山本 和男
三芳町藤久保 1100 番地 1
三芳町役場地域振興課内
電話 049-258-0019

基調講演とワークショップで「協働のまちづくり公開学習会」

MIYOSHIまちづくり工房

新アクションプラン策定に向け課題を抽出

平成23年度「協働のまちづくり公開学習会」を、「MIYOSHIまちづくり工房」と名づけて、9月25日(日)、三芳町総合体育館3階研修室において開催しました。この学習会は、三芳町協働のまちづくりネットワークと三芳町協働推進本部が共催しているもので、数えて第3回目となります。

今回の公開学習会には、協働のまちづくり活動の具体的指針を定めた「三芳町協働アクションプラン2008」が最終年度を迎えたことから、住民の皆さんからまちづくりに関する意見やアイデアをお伺いし、来年度から始まる新しいアクションプランに反映させていこうという目的があります。

公開学習会は、午前の部の基調講演と、午後の部



のワークショップから構成されています。まず、(財)地域開発研究所主任研究員で、三芳町の政策研究所アドバイザーを務める牧瀬稔氏が、「自治と協働って何？」と題して基調講演を行いました。地方自治における市民参加と協働の事例を紹介し、協働を行うに当たっては、市民や団体、行政がそれぞれの役割を十分理解して活動することが成功の秘訣、と強調していました。

午後は、協働のまちづくりネットワークで事業活動中の5分野に分かれて、ワークショップを行いました。各分野の参加者全員が、まちづくりで取り上げるべき課題やアイデアを提起したシートを、内容ごとにまとめて大きな模造紙に貼り付け、ボードに掲示しました。最後に、全員が赤い小さなシールを5枚ずつ持って各分野の掲示を見て回り、「これは」と思うシートに貼り付けていきました。最高16枚のシールを獲得したシートもあり、このシートが提起した課題は、おそらく、新しいアクションプランに反映されることになるでしょう。



三芳町協働のまちづくりネットワーク

「三芳町協働のまちづくりネットワーク」は、入々の暮らしと自然が調和した三芳町の美しい風土を守り育てるとともに、三芳町を自立した活力のあるまち、住民自らが誇れる魅力あるまちとして更に発展させていくために、住民と町がパートナーとして協働でまちづくりを進めていくことを目的に、条例で設置された組織です。この目的を達成するために、現在5つのグループが活動中です。

健康福祉グループ

高齢者が安心して暮らせるまちに

埼玉県が、高齢者が安心して暮らせる社会づくりの計画を発表しました。

第一は、「高齢者一人一人の状態に応じて医療、介護などの在宅サービスが切れ目なく提供できる体制を整備する」というものです。三芳町も、平成28年度末までに「24時間の定期巡回、随時対応サービスを利用できる」ようになります。そうなれば、本人も家族も安心することができるでしょう。

第二は、「元気な高齢者を含めた地域社会全体で、単身高齢者や高齢夫婦が孤立しないよう、見守り、支え合う地域コミュニティを構築する」というものです。今や地域の新しい絆を再生し、活力ある「絆」を結び直すことが喫緊の課題です。

健康福祉グループでは、高齢者の居場所づくりを



テーマにした「ふれあいサロン」の開設を進めています。サロンは、「新しいつながりの仕組み」の一つになると思います。特に、高齢者の支援には、同じ年代の地域住民が加わることが重要です。同年代だからこそお互いに理解し、共感できます。時には、家族にも言えない悩みなどを打ち明けることもあります。ぜひ、お気軽に「ふれあいサロン」へお越し下さい。そして、一緒に自分たちのサロンをつくり上げましょう。

教育文化グループ

夏休みに児童館で子どもと交流



教育文化グループでは、昨年の夏休みに、藤久保児童館で、宿題をしたり、折り紙や工作、卓球などをしたりして、子どもたちと交流をしました。初めての試みで、毎週火曜日の午前中2時間だけでしたが、周知期間が十分でなかったにもかかわらず、5回で述べ50人を超す子どもたちが参加してくれました。一定の成果があったものと考えています。

この試みを通して、今までの取り組み方とは違う方法があるのがわかりましたので、来年度以降の活動について、グループ内で検討を始めました。

子どもたちが望む学習支援の充実を図るために、更に多くの方に参加していただきたく、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせは、教育文化グループ藤崎まで。

電話 070-6466-7124

メール scv324@gmail.com

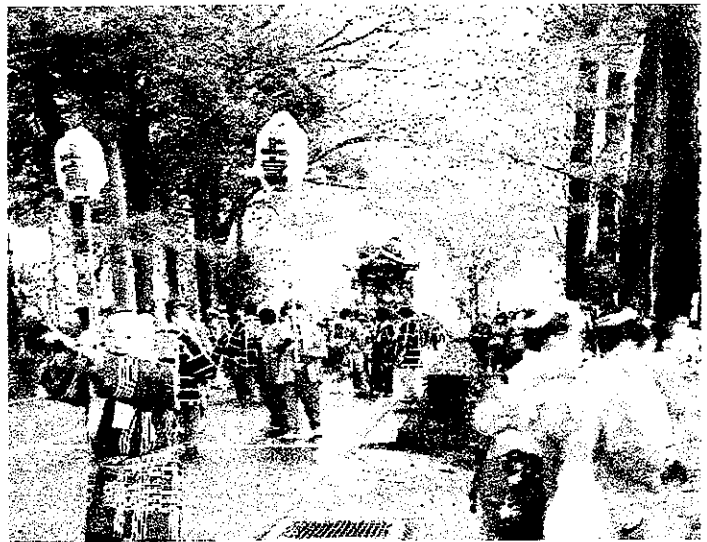
産業観光グループ

ふるさとの原風景を活かし 観光でのまちづくりを

自然に恵まれた三芳町には、景観に優れた場所が数多くあり、また色々な催しが行われています。初夏には竹間沢のこぶしの里で蛍の夕べが催され、秋には多福寺の見事な紅葉、冬には上富で里山の落ち葉掃きが行われます。日本のふるさとの原風景ともいえるでしょう。

上富まつりも、古くから続くまつりの一つです。昨年11月6日(日)に開催された上富まつりには、三富新田の開拓を命じた川越藩主柳澤吉保公の末裔の保徳(やすのり)氏も参加され、お囃子の音色や山車とともに上富地内を回られました。雨の中、しっとりとした情感をかもし出したまつりでした。三芳町には、こうした催しがいくつも残されています。

皆さんは、みよしっ子野菜市や北本市で行われた



上富まつり。柳澤吉保公の末裔保徳氏も参加された。

B級グルメ王決定戦などで、我々の活動をご存知かもしれませんが、今年は、観光にも力を入れたいと考えています。淑徳大学との協働で観光マップを作成するとともに、みどり環境グループとも協働で、まちを花いっぱいにする活動を計画しています。

皆さんも一緒に、活動を楽しまれますか！グループに参加されるボランティアを募集しています。ご連絡は勝山(090-7009-3119)まで。

みどり環境グループ

三芳町の自然と環境の保全を

*グリーンサポート隊

雑木林整備事業は、三芳町緑地公園両隣、唐沢小学校裏の林から淑徳通り沿いと大学隣接の林へと、昨年末から埼玉県「平地林再生事業支援」を得て、拡大整備を進めています。



藪化と老朽化を深める林の整備は、林を農用林として再生し、樹木の老化を抑え、CO2の吸収を助け、併せて近隣住宅地の防火、防犯にも役立っています。

整備拡張にはより多くの隊員が必要です。参加ご希望の方は三芳町役場都市計画課みどり公園係(内線234)までお申し出下さい。

*エコライフデー三芳

昨年夏から、町役場、町民有志と淑徳大学有志でエコライフ実行委員会を立ち上げ、三芳町区長会の協力も得て、三芳町独自の「エコライフデー三芳」を実施しています。簡単なチェックシートに記入してエコへの努力度を測るだけですので、皆さんもぜひご参加下さい。お問合せは三芳町環境産業課へ。

*みよし花いっぱい運動

三芳町を花で飾る活動を、産業観光グループとの協働で行う準備に入りました。

休耕地や空き地を活用し、春は菜の花、夏から秋にかけてはヒマワリ、ゴマ、ソバ、それから三芳町の花キクなどの有用植物を育成し、町を花でいっぱいにしようという計画です。

都市安全グループ

新年度に安全マップの改訂版を

私たち都市安全グループの活動は、昨年のはじめは、やや停滞気味でしたが、後半に入って藤久保小学校PTAの皆さんのご協力を得、校区内の安全安心マップの見直し作業を進めることができました。続いて、昨年の12月には唐沢小学校PTAの役員会にお邪魔をし、協働で通学路の再点検作業を行うことをお願いしました。残りの3校についても協力をお願いし、年度内に再調査を完了する予定にしています。新年度には改訂版の安全安心マップを配付できるよう、頑張っているところです。

また新年度からは、近年問題となってきた自転車事故を撲滅するため、警察や町役場の協力を得て、自転車安全運転教育に取り組むと考えています。多くの方々のご参加を得て、この運動の徹底を図っていきたく考えますので、皆さんのご協力をお願いいたします。



第2回協働推進会議を開催

三芳町では昨年12月21日(水)、平成23年度の第2回協働推進会議を開催しました。この会議は、「第1次協働のまちづくり推進計画」が本年度で終了することに伴い、来年度から始まる第2次推進計画を策定するためのものです。今回の会議には、第2次推進計画の素案が提示され、林協働推進本部長(町長)以下の本部員と、山本まちづくりネットワーク運営委員長を始めとする関係団体選出委員との間で、活発な議論や意見交換が行われました。

協働のまちづくりフェア 2012

【日時】平成24年3月11日(日)午後1時30分～4時30分
【場所】藤久保公民館 ホール/みらい広場 ※入場無料

「協働☆みんなで 魅力あるまちをデザインⅣ」

～身近なことから、まちづくりの魅力を発見!!～

ホール

各種まちづくり活動の
プロモーションタイム
健康福祉/みどり環境
都市安全/産業観光
教育文化
午後2時～4時30分



体験できます!!
起震車・煙体験ハウス
防災意識を高めましょう!!

みらい広場・ロビー

☆販売☆
みよしっ子野菜市 開催
三芳太陽の家 作品即売会

「協働のまちづくりって何?」と感じたら、会場へ足を運んでみてください。
あなたが探している活動が見つかるはずです。